Journal of the SHIZUOKA Association of Radiological Technologists

SHIZUOKA JOURNAL

Vol.32 No.2 2022（通巻215号）

目　次

巻頭言　「国会議員に診療放射線技師が存在する強み」　副会長(東部) 牛場　克明 … 1

会告　第27回静岡県放射線技師学術大会 … 2
・演題募集
・演題区分表
・演題申込用紙
第16回医療安全セミナー（12/10） … 5
令和４年度第７、８回告示研修(実技研修)(12/10～11) … 6
新春公開講演会、公益社団法人化10周年記念式典(１/14) … 8
第49回放射線技師のためのセミナー（１/21） … 10
第63回東海四県診療放射線技師学術大会(静岡県)(２/11) … 11
第７回ワークライフバランス検討委員会研修会(２/18) … 12
令和４年度静岡県放射線技師研修会(３/18) … 13

報告　公益社団法人日本診療放射線技師会　創立75周年記念式典(７/16) … 14
令和４年度第３、４回告示研修(実技研修)(７/23～24) … 15
第12回フレッシャーズセミナー（９/10） … 17

連載企画　突撃！！となりの放射線科 … 18

メッセージボード … 23

本会の歩み … 26
会員動静 … 27
本会への寄贈図書 … 28

議事録　令和４年度　第２回理事会議事録(８/27) … 29

行事予定カレンダー … 40

S.A.R.T 公益社団法人 静岡県放射線技師会

巻　頭　言

『国会議員に診療放射線技師が存在する強み』



（公社）静岡県放射線技師会　副会長（東部）　牛場　克明

今年度より静岡県放射線技師会東部副会長を務めさせて頂いています一般財団法人富士脳障害研究所附属病院の牛場です。技師会に入会して20数年が経ち多くの県技師会の先輩方が技師会活動を継続・発展させてくださり、私も年を重ね縁あってこのような大役に就かせていただくこととなりました。診療放射線技師を職として長く業務していると数々のことを経験します。診療放射線技師法改正による業務拡大にともなう研修会、チーム医療としての取り組みなど静岡県放射線技師会が中心となり研修会の開催を担ってきていることも多いです。

国家資格である診療放射線技師職は厚生労働省の管轄であり、職能団体である日本診療放射線技師会は厚生労働省との関係が特に重要です。そんな中、岸田文雄内閣総理大臣は８月10日に内閣改造を行い、第二次岸田内閣を組閣しました。厚生労働大臣には、加藤勝信・前自民党社会保障制度調査会長が就任しました。また、厚生労働副大臣には、元日本医師会副会長で自民党の羽生田俊氏、公明党の伊佐進一氏、厚生労働大臣政務官には、元日本薬剤師連盟副会長で自民党の本田顕子氏、診療放射線技師で自民党の畦元将吾氏が就任しました。畦元議員についてはここで説明しなくてもご存知の方が多いと思います。2019年に当選された診療放射線技師の国会議員です。診療放射線技師は国家資格でありその職域は国会で決定されます。その機関に診療放射線技師がいるということはとても心強いことです。

2013年に第23回参議院議員通常選挙に自由民主党公認候補として比例区から立候補し落選したことがとても印象に残っています。その当時、日本放射線技師会会員数３万前後で畦元候補の投票数が2.8万票で落選しました。技師会会員の数からもっと健闘するものだと思っていたのですが残念な結果になりました。その後、2016年の第24回参議院議員通常選挙に自由民主党公認候補として再度、比例区から立候補するが落選。2017年、第48回衆議院議員総選挙に比例中国ブロックから自由民主党比例名簿21位（単独）で立候補するが次点で落選。2019年７月、同ブロックで当選し衆議院議員であった三浦靖氏が第25回参議院議員通常選挙の比例区に立候補し、公職選挙法の規定で衆議院議員を退職（自動的に失職）したことにより、同月11日の選挙会で畦元候補が繰り上げ当選となりました。2021年、第49回衆議院議員総選挙に比例中国ブロックから単独20位で立候補し、再選しています。そして今回の組閣で厚生労働大臣政務官に就任されたことは診療放射線技師において追い風となることを期待しています。

現在、医師のタスク・シフト/シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正が行われ、これにより診療放射線技師の資格を有する者は、厚生労働大臣が指定する研修を受けることが義務付けられています。この告示研修も日本診療放射線技師会が実施しています。より多くの診療放射線技師ができるかぎり早く告示研修を修了し畦元議員の流れに乗って、診療放射線技師の将来に繋げていければと思います。

会　　告

『第27回静岡県放射線技師学術大会 演題募集』

令和５年５月28日（日）において、第12回（公社）静岡県放射線技師会定時総会及び第27回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会において研究発表演題を下記により募集いたします。今まで学術発表の経験がない方や若手技師の方、大歓迎です。学術大会での演題発表の経験は必ず糧になります。多数の演題をお寄せくださいますようご案内申し上げます。

記

【日　　時】 令和５年５月28日（日）

【会　　場】 静岡県男女共同参画センター　あざれあ
〒422-8063　静岡市駿河区馬渕１丁目17-1
TEL：054-255-8440

【発表形式】 ① 口述発表　発表時間 ７分　討論 ３分
② 液晶プロジェクターを使用したＰＣプレゼンテーション
（Windows用Microsoft Office Power Point 2016）を基本とします。
＊新型コロナウィルス感染症流行状況によりweb配信等発表形式が変更になる可能性があることをご了承ください。

【発表資格】 会員および賛助会員　但し、令和４年度会費完納者（共同発表者も）

【応募方法】 静放技ホームページ（http://shizuhogi.jp）にて演題申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入したうえで、電子メールに添付し、件名に「演題申込」と明記して下記アドレスまで送信してください。
演題申込メールアドレス：endai.entry@shizuhogi.jp

【受理通知】 演題受理の通知を、申込みメールアドレスに返信します。申込み後７日を経過しても通知のない場合は、通信トラブル等考えられますので、お問い合わせください。なお、演題採用者には後日抄録集の作成に協力いただきます。

【締め切り】 令和５年１月29日（日）必着

【申込先（お問い合わせ）】
〒420-0839
静岡市葵区本通１丁目３－５　フェリス本通り202
（公社）静岡県放射線技師会　TEL　054-251-5954
FAX　054-251-9690

演 題 区 分 表

演題主区分	区分番号	区　分　内　容
X 線 撮 影	A	単純・造影・断層撮影技術 アンギオ・ＤＳＡ・ＦＰＤ撮影技術 機器、画像処理技術、補助具 品質管理、画像評価 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
X 線 C T	B	ＣＴ撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
M R I	C	ＭＲＩ撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
核 医 学	D	インビトロ（試料測定一般） インビボ（体外測定一般） 機器、画像処理技術、品質管理 放射性医薬品、臨床応用、その他
放 射 線 治 療	E	治療計画・照合・計測、照射技術 機器、補助具、品質管理 ラジオサージェリー、小線源照射、温熱療法、その他
超 音 波	F	検査技術一般、臨床応用 機器、品質管理、その他
その他の検査	G	骨塩定量検査・機器 体外衝撃波結石破砕装置 眼底撮影、その他
放 射 線 管 理	H	放射線管理一般、法令 被曝防護、特性・遮蔽計算、その他
画 像 情 報	I	画像解析、画像評価、画像処理技術 HIS・RIS、PACS画像通信・保存、読影システム その他
情報管理・運営	J	読影補助、業務統計処理、人材育成 マネジメント、医療経営、広報、その他
ペーシェントケア	K	
感 染 対 策	L	

年　　月　　日

第 27 回 静岡県放射線技師学術大会

演題申込用紙　　（2023 年 1 月 29 日（日）必着）

<table>
<tr><td>演 題 名
（区分記号）</td><td colspan="3">（　　）　演題区分表参照</td></tr>
<tr><td></td><td>所属施設・部署</td><td>会員番号</td><td>氏　名</td></tr>
<tr><td>発 表 者</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>共同発表者</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>演 題 予 稿
原 稿
（400 字程度）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">代表者連絡先</td><td colspan="3">氏　名</td></tr>
<tr><td colspan="3">住　所
〒

所　属</td></tr>
<tr><td colspan="2">TEL　（内線）</td><td>FAX</td></tr>
<tr><td colspan="3">E-mail</td></tr>
<tr><td>通 信 欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

※ご記入内容は予稿集の作成データとなります。お間違えのないようにお願いいたします。

送付先　e-mail：endai.entry@shizuhogi.jp　　TEL：054-251-5954

会　　告

『第16回医療安全セミナー開催案内』

第16回医療安全セミナーは、講演１「知って納得、備えて安心、技師会JARTの保険」と題しまして、保険会社様より実際の事例、想定されている事故紛争などを示しながら技師会JARTの保険について解説していただきます。講演２では聖隷浜松病院様のQCサークル全国大会（札幌）にて最優秀賞を受賞された報告を紹介していただきます。施設発表では、２施設よりインシデント・アクシデント対策について事例をまじえて発表していただきます。

本セミナーでは、JART保険を知り、各施設での取り組みや情報の共有することによって皆様の施設での医療安全対策に役立てていただくことを目指します。

記

【日　時】2022年12月10日（土）15：00～17：00
【場　所】Web開催（ZOOMミーティング）
【参加費】無料　定員100名（先着順、定員になり次第募集を終了します。）
【申し込み】静岡県放射線技師会ホームページの会告・セミナーの参加申し込みフォームよりお申し込みください。申込期間2022年11月21日～12月９日
【注意事項】静岡県放射線技師会ホームページの会告・セミナーの参加者用簡易マニュアルをご参照ください。
【プログラム】

14：45～15：00　ZOOM入室可能

15：00～15：50

●講演１「知って納得、備えて安心。技師会JARTの保険について」
～JARTの保険について実際の事例、想定されている事故、紛争などから学ぶ～
東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部　谷口　凛人　様

15：50～16：20

●講演２「放射線部門における安全文化醸成に向けた取り組み」
聖隷福祉事業団　総合病院　聖隷浜松病院　種石　吉記　様

16：20～17：00

●会員発表「各施設におけるインシデント・アクシデント対策～事例もまじえて～」
✧　バス検診のリスク対策
共立蒲原総合病院 健康診断センター　鈴木　　敦　様
✧　静岡済生会総合病院におけるインシデント・アクシデントの現状と対策
静岡済生会総合病院　加藤　隆史　様

✓　セミナーに関わる著作権、商標権などの知的財産権その他の権利を侵害するような行為およびデータの撮影、録音、その他の不正利用を固く禁じます。
✓　セミナー受講者には、日本診療放射線技師学術ポイントが付与されます。

【問い合わせ先】医療安全推進委員長　中村　英明
（静岡済生会総合病院 放射線技術科）054-285-6171

会　　告

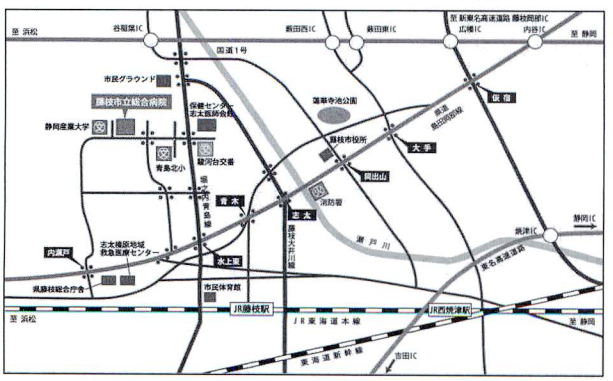
『令和４年度　第７回告示研修(実技研修)』

医師のタスク・シフト／シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正が行われました。これにより、診療放射線技師の資格を有する者は、厚生労働大臣が指定する研修（以下、告示研修という）を受けることが義務付けられ、この研修は日本診療放射線技師会が実施いたします。告示研修は、基礎研修（e-ラーニング形式）と実技研修（会場型）から成ります。静岡県では基礎研修（e-ラーニング形式）を修了した方を対象とした実技研修を下記の通り開催いたします。

記

【日　　時】　令和４年12月10日（土曜日）
【場　　所】　藤枝市立総合病院　２階 講堂
　　〒426-8677　静岡県藤枝市駿河台４丁目１番11号
【受 講 料】　会員：10,000円　　非会員：20,000円
【お申し込み】　日本診療放射線技師会ホームページ、JART 情報システム内のメニュー「生涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。
　　（JART 情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です）
※10月８日より受付開始。（業務拡大に伴う統一講習会修了者は10月１日より先行受付可能）

【内　　容】　８：45～８：50　　受付
　　８：50～９：00　　開講式
　　９：00～12：30　　動画視聴
　　（静脈路確保、RI検査、動脈路に接続する行為、下部消化管、上部消化管）
　　12：30～13：10　　昼休憩
　　13：10～17：30　　実技研修
　　（静脈路確保、RI検査、動脈路に接続する行為、下部消化管、上部消化管）
　　17：30～17：40　　閉講式



交通機関でのお越しの場合
JR東海道線「藤枝駅」下車、藤枝駅北口よりバス（１番のりば）で約15分
JR東海道線「藤枝駅」下車、藤枝駅北口よりタクシーで約10分

お車でお越しの場合
新東名高速道路 藤枝岡部ICより、約30分
東名高速道路 焼津IC、吉田ICより、約30分
国道１号線 谷稲葉ICより約５分

生涯教育委員

会　　告

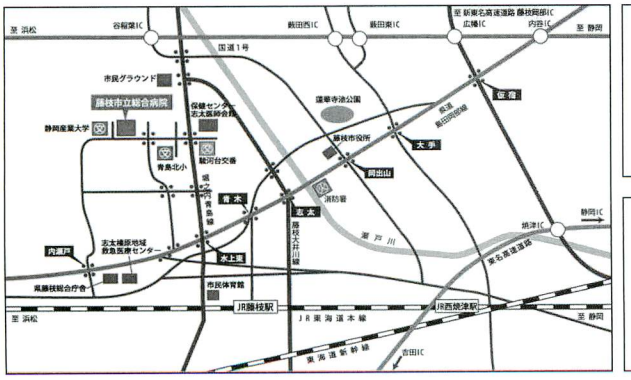
『令和４年度　第８回告示研修（実技研修）』

医師のタスク・シフト／シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正が行われました。これにより、診療放射線技師の資格を有する者は、厚生労働大臣が指定する研修（以下、告示研修という）を受けることが義務付けられ、この研修は日本診療放射線技師会が実施いたします。告示研修は、基礎研修（e-ラーニング形式）と実技研修（会場型）から成ります。静岡県では基礎研修（e-ラーニング形式）を修了した方を対象とした実技研修を下記の通り開催いたします。

記

【日　　時】　令和４年12月11日（日曜日）
【場　　所】　藤枝市立総合病院　２階 講堂
　　〒426-8677　静岡県藤枝市駿河台４丁目１番11号
【受 講 料】　会員：10,000円　　非会員：20,000円
【お申し込み】　日本診療放射線技師会ホームページ、JART 情報システム内のメニュー「生涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。
　　（JART 情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です）
※10月９日より受付開始。（業務拡大に伴う統一講習会修了者は10月２日より先行受付可能）

【内　　容】　８：45～８：50　　受付
　　８：50～９：00　　開講式
　　９：00～12：30　　動画視聴
　　（静脈路確保、RI検査、動脈路に接続する行為、下部消化管、上部消化管）
　　12：30～13：10　　昼休憩
　　13：10～17：30　　実技研修
　　（静脈路確保、RI検査、動脈路に接続する行為、下部消化管、上部消化管）
　　17：30～17：40　　閉講式



交通機関でのお越しの場合
JR東海道線「藤枝駅」下車、藤枝駅北口よりバス（１番のりば）で約15分
JR東海道線「藤枝駅」下車、藤枝駅北口よりタクシーで約10分

お車でお越しの場合
新東名高速道路 藤枝岡部ICより、約30分
東名高速道路 焼津IC、吉田ICより、約30分
国道１号線 谷稲葉ICより約５分

生涯教育委員

会　　告

『新春公開講演会開催』

新春公開講演会を下記の通り開催致します。通年の新春公開講演会では、県民に向けて放射線に関する病気や検診について企画していましたが、今回の公開講演は少し趣向を変え、今年度より静岡県放射線技師会の会長に就任した高橋真会長より熱いメッセージを込めて、社会の変化における診療放射線技師の変遷と将来像および県民への放射線技師会としての貢献など幅広い方向から静岡県民と診療放射線技師に向けて講演していただきます。

ラジエーションハウスで注目を集めつつある診療放射線技師として県民の皆様のお役にたつことができますよう、初心に立ち返りメッセージを受け止めるよい機会と思います。また、県民の皆様の理解が深まる事と思っています。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

【日　時】　令和５年１月14日（土）　13：30～15：00

【会　場】　ホテルグランヒルズ静岡　５Fセンチュリールーム

〒422-8575　静岡市駿河区南町18-1　Tel：054-284-0111

※ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

【参加費】　無料

【内　容】

13：30～　　受付

13：55～14：00　会長挨拶

14：00～15：00　公開講演

『社会の変化における診療放射線技師の変遷と将来像 －県民へのメッセージ－』

公益社団法人　静岡県放射線技師会　会長

医療法人弘遠会　すずかけセントラル病院　診療技術部放射線科　課長

高橋　　真　会長

座長：静岡県立総合病院　早坂みさを　会員

※引き続き10周年記念式典が開催されます。詳細につきましては別紙会告にてご確認ください。

＊技師会員はIDカードをご持参ください。

会　　告

『公益社団法人化10周年記念式典開催について』

公益社団法人化10周年を記念した「公益社団法人化10周年記念式典」を開催いたしますので下記の通りお知らせいたします。

つきましては、この記念すべき年を皆様とご一緒にお祝いできればと思いますので、お誘い合わせの上ご参加くださいますよう案内申し上げます。

記

【日　時】　令和５年１月14日（土）15：00～15：50

【場　所】　ホテルグランヒルズ静岡　５Fセンチュリールーム

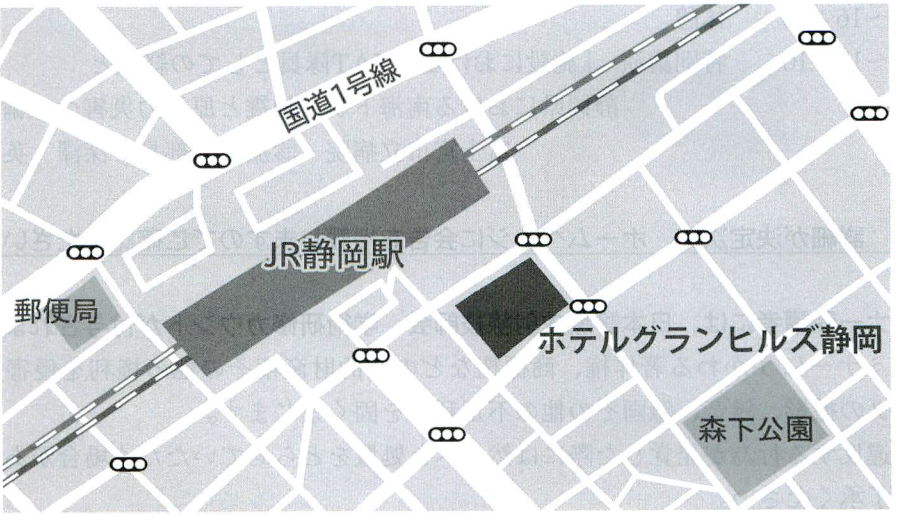
〒422-8575静岡県静岡市駿河南町18-1　Tel　054-284-0111

＊公共交通機関をご利用下さい

【参加費】　無料

【内　容】　15：00～15：50　法人化10周年記念式典　《式次第》

開式の辞
会長挨拶
来賓挨拶
祝電披露
表彰
設立功労者紹介
閉式の辞



会　　告

『第49回放射線技師のためのセミナー』開催のご案内

管理士部会では、「第49回放射線技師のためのセミナー」を下記の日時で開催いたします。

今回は、「災害対策」をテーマに企画しております。昨今、日本各地で自然災害が発生しており、最近では静岡県内でも台風15号の影響により大規模停電や断水等発生し、多くの施設や会員の皆様におかれましては苦しい時間を過ごされた方も多いかと思います。また、南海トラフ地震や原子力災害にも十分な備えが必要です。そこで、各施設での防災の取り組み、災害発生時の運用や課題などを共有し、災害時の支援、受援を含めて今後の取り組みに役立てていただければ幸いです。皆様の御参加をお待ちしております。

記

【日　　時】　令和５年１月21日（土）13：30 ～ 17：15　（13：00から入室可能予定）
【場　　所】　Web開催（Zoom Network Meeting）
【参 加 費】　500円（静放技決済システムによる事前決済）
【参加方法】　Zoom（Web会議ツール）
静岡県放射線技師会ホームページの会告・セミナーの参加者用簡易マニュアルをご参照ください
【申込方法】　静岡県放射線技師会ホームページ　「会告・セミナーの参加申込フォーム」
【内　　容】

13：35～14：45　企業講演　「災害発生時に活用できる装置・機器について」
14：50～15：50　会員発表　「各施設における災害対策の取り組みと経験」
15：50～16：00　休憩
16：00～17：10　特別講演　「施設におけるDMAT隊員としての経験と
静岡県における南海トラフ地震と原子力災害への備え（仮）」
富士宮市立病院　診療技術部長　深澤　英史　先生

※　詳細が決定次第、ホームページに会告を掲載しますのでご確認ください。

セミナー受講者には、日本診療放射線技師会　学術研修カウントが付与されます。

本Webセミナーにかかわる著作権、商標権などの知的財産権その他の権利を侵害する行為及びデータの撮影、録音、録画その他の不正利用を固く禁じます。
万が一、違反する行為が発覚した際には然るべき処置をとらせていただく場合があります。その旨ご了承ください。

会　　告

『第63回東海四県診療放射線技師学術大会』

2023年２月11日（土・祝）当県で「第63回東海四県診療放射線技師学術大会」を下記の通り開催する運びとなりました。大会テーマは「肝臓疾患に迫る画像診断」です。教育講演に、国立大学法人浜松医科大学 五島　聡 教授をお迎えします。また、各モダリティから肝臓疾患における画像診断におけるトピックスをお届けできる企画としてシンポジウムを実施いたします。さらに、ランチョンセミナー、「医療放射線の安全利用について」と題しての会員発表など、多くの企画をご用意しております。

会員のみなさまにはぜひ足をお運びいただきますよう、よろしくお願いいたします。

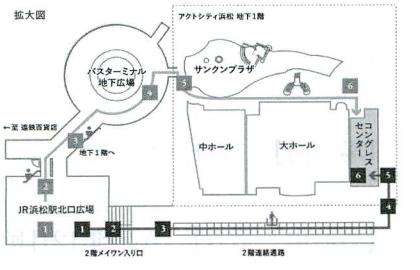
記

【日　時】　2023年２月11日（土・祝）　10：00～16：00

【場　所】　アクトシティ浜松　コングレスセンター３F
静岡県浜松市中区板屋町111-1
TEL：053-451-1111

【当番県】　公益社団法人　静岡県放射線技師会
東海四県診療放射線技師学術大会実行委員会

【参加費】　会員　2,000円　　非会員　4,000円
学生無料（学生証提示、社会人学生除く）



【内　容】　10：00～　　受付
10：40～11：40　　会員発表 「医療放射線の安全利用について」
CT、核医学、血管撮影、安全利用の教育
11：50～12：50　　ランチョンセミナー
「肝疾患に対するEOBと細胞外液性造影剤の使い分け」
協賛：バイエル薬品株式会社
13：00～14：00　　教育講演 「肝臓の画像診断について」
浜松医科大学放射線診断学講座　五島　聡　教授
14：10～15：50　　シンポジウム 「肝臓疾患に迫る画像診断」
CT、MRI、超音波、核医学またはIVR

※プログラム、内容については変更することもございます
※日本診療放射線技師会学術研修カウントの付与がございます。会員証をご持参ください
※会場型での開催となります。感染対策は実施いたしますが、体調不良などがある方は入館できない場合がありますことをご了承ください

会　　告

『第7回　ワークライフバランス検討委員会研修会』

ワークライフバランス検討委員会では第７回研修会を下記内容で開催いたします。

2022年９月に静岡県技師会会員の皆さまにご協力いただいた『診療放射線技師タスクシフト業務の実施状況』に関するアンケート結果の公表をし、アンケート結果から静岡県内の告示研修の実施状況の把握と、タスクシフト業務の現状と課題等を会員の皆さまと共有できればと思っております。また、今回アンケートにご協力いただいた施設の中から、タスクシフト業務を既に導入している施設の取り組みについて発表していただく予定です。導入にむけて施設でどのように業務シフトしていったのか、タスクシフトの導入を検討している他施設の方へ参考になるお話がきけると思います。ご多用とは存じますが、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

記

【日　時】 2023年２月18日（土）　13：40～16：00 （受付13：40～）

【場　所】 Web開催（今回の研修会はzoomでの開催となります。）

【事前申し込み】 2022年12月頃から開始予定（詳細は技師会HPをご覧ください）

【参加費】 無料

【内　容】
13：40　受付開始　開会挨拶＆Webセミナーにおける注意事項
14：00　『診療放射線技師タスク室業務の実施状況に関するアンケート』結果公表
ワークライフバランス検討委員会委員発表
14：30　告示研修の実技研修について　講師：未定
14：45　休憩
15：00　会員発表　各施設でのタスクシフト業務への取り組みについて
16：00　閉会

詳細が決まり次第、静岡県技師会のHPにて発表させていただきます。

会　　告

『令和４年度　静岡県放射線技師研修会』

近年、医療法改正に伴う告示研修などのスキルアップ講習が開催され、診療放射線技師を取り巻く環境にも著しい変化が見られます。とはいえ我々技師の技術は、一朝一夕で身につくものではなく、かつ年齢や経験によって学ぶことにも違いがあります。今回、段階的な成長・人材育成方法の学習を目的としたクリニカルラダーの研修会を開催いたします。

つきましてご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い申しあげます。

記

【日　　時】 2023年３月18日（土）　14：00～15：50（受付開始13：30）

【参 加 費】 無料　　※事前参加登録制　定員100名　（先着順）

【事前申込】 令和５年２月７日（火）～令和５年３月15日（水）

※申込締め切り後の登録につきましては、企画調査委員会までメールにてご連絡ください。

企画調査メールアドレス：kikaku@shizuhogi.jp 廣澤宛まで

【申込方法】 今回の研修会はZOOMによるWEB開催となります。

静岡県放射線技師会ホームページ、セミナー参加申込フォームよりお申込みください。

【内　容】 13：30～　受付開始

14：00～　開会挨拶＆注意事項

国際医療福祉大学熱海病院　大多和純一　会員

14：10～　講演：診療放射線技師のクリニカルラダー

『新人教育から定年までの人材育成のノウハウ』

講師：聖隷健康診断センター　放射線課技師長　小林　秀行　先生

座長：静岡済生会総合病院　放射線技術科　中村　英明　会員

15：40　閉会

・当研修会は日本放射線会学術研修ポイント対象研修となります。

公益社団法人静岡県放射線技師会企画調査委員会

公益社団法人日本診療放射線技師会
創立75周年記念式典　報告

令和４年７月16日
東京都　経団連会館

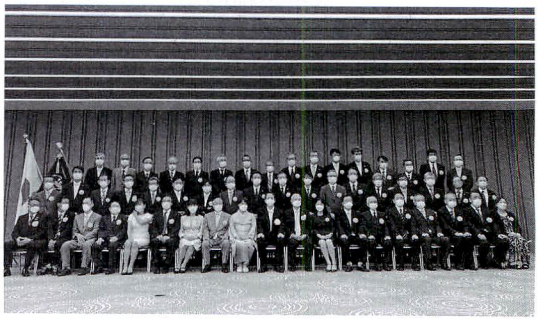
令和４年７月16日（土）14時より、東京都経団連会館「国際会議場」において、公益社団法人日本診療放射線技師会　創立75周年記念式典が開催されました。当日はあいにくの雨模様で、さらに新型コロナウィルスの感染拡大が懸念されている最中でしたが、全国の会長はじめ、衆議院議員、厚生労働省、更に日本病院会をはじめとする各種職能団体からの来賓が出席され、盛大に開催されました。総合司会には、本年度より全国の理事として活躍されている、当県の中村登紀子理事が務められました。

日本診療放射線技師会上田会長のあいさつに続き、岸田文雄内閣総理大臣と後藤茂之厚生労働大臣より、ビデオメッセージにて診療放射線技師への期待を込めて、祝辞が述べられました。

その後の厚生労働大臣表彰において、当県からは、杉山高会員（静岡県推薦）と山本英雄前静岡県放射線技師会会長（日本診療放射線技師会推薦）の２名が受賞されました。長年にわたる放射線診療へのご尽力が評価されたものです。受賞誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

閉会後の記念講演会では、国際医療福祉大学の鈴木康裕学長より、「日本の医療の将来」と題し、１時間にわたりご講演いただきました。現在の医療と今後の医療の在り方、そして診療放射線技師の今後について多角的に分析をされておられました。人口減少とともに医療従事者過多に関する課題についても述べられ、我々診療放射線技師についても、更なる業務拡大の重要性を訴えられました。そのためにもまずは、すべての診療放射線技師が告示研修を終了し、厚生労働省に実施状況をしっかりと示していく必要があると感じました。







令和4年度第3、4回告示研修（実技研修）報告

令和４年７月23日、24日
富士宮市立病院

令和４年度第３、４回告示研修（実技研修）を令和４年７月23日、24日の２日間にわたり、富士宮市立病院にて開催しました。

令和３年７月９日医政発0709第７号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテルから注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテーテルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品を投与するための装置を接続する行為、当該放射性医薬品を投与するために当該装置を操作する行為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会が主催し各県で業務追加に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした研修を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受講者数は７月23日が38名、７月24日は44名でした。

午前中は動画視聴を行いました。１．造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為を30分。２．核医学検査のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、装置を操作する行為を40分。３．動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為を60分、４．下部消化管検査（CTコロノグラフィ検査を含む。）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為を45分。５．上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を20分おこないました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用いた静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核医学及び静脈（CT）実技の実習に入りました。医師１名、看護師１名、ファシリテータ６名のもと、受講生を６チーム（A～F）に分割し、２名１組として１チーム８名４組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では８ブースを準備して看護師とファシリテータが講師となり、１ブース２名１組で穿刺役、患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師からチェックが入りその場で指導を受けており、シミュレーション通りに終えないので刺激がある実習になりました。

動脈実技では４ブースを準備して医師とファシリテータが講師となり、１ブース４名２組で清潔役、補助役をそれぞれが担い、ガウンテクニック、造影剤注入装置に接続する行為について、講師からのデモンストレーション後に順次手順に沿って各人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各４ブース準備をしてファシリテータが講師となり、１ブース２名１組で行いました。下部消化管は肛門からカテーテ

ルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより造影剤を注入する、抜去する行為の実習をシミュレーターを使用して行いました。

RI実技及び静脈（CT実技）では、各４ブースを準備してファシリテータが講師となり、１ブース２名１組で行いました。造影検査手技の操作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師よりその都度指導を受けながら行っていきました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、令和６年４月１日前に診療放射線技師の免許を受けた者は、追加された行為を行おうとするときはあらかじめ受講が義務付けられています。

追加された行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの研修会に参加する意義だと思います。この研修会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。

生涯教育委員　曽我　隆正

第12回　フレッシャーズセミナー　報告

令和4年9月10日
藤枝市立総合病院　講堂

令和４年９月10日に藤枝市立総合病院にて、第12回フレッシャーズセミナーを開催しました。

本セミナーは日本診療放射線技師会が主催し、各県放射線技師会において平成23年度より毎年開催されています。

日本診療放射線技師会は平成13年度、会員数が約32000名であったのですが、ここ数年で団塊の世代の方々の退職や技師会離れが進み、現在では28000名程度と減少してきています。これは静岡県においても同様です。この状況に歯止めをかけるべく、特に新人の方を対象とし、技師会活動の理解を深めていただくこと、また医療者として必要な基礎知識を身につけ、医療及び保健・福祉の向上に努めることを目的として開催しました。

会場型で開催しました。参加者は９名、そのうち卒後３年目までのフレッシャーズは８名でした。もちろんJARTの会場型講習会開催ガイドラインに基づいて感染防止に努め最善の注意を払い開催しました。内容としては、入会案内、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、感染対策、被ばく低減でした。

入会案内は高橋真会長から職能団体としての日本診療放射線技師会の活動、静岡県放射線技師会の歩みや会員の動向及び会費についての説明があり、会員になって頂けるように働きかけがありました。

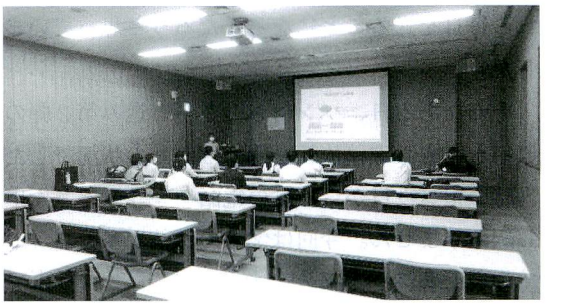
エチケット・マナー、医療コミュニケーション講座では身だしなみや挨拶など基本的なことを中心に、対応する技師の接遇によって与える印象が様々であることや、電話の対応、電子メールの書き方などの説明が行われました。

医療安全講座では、基本的な考え方や医療安全の確立における今までの経緯を説明し、過去に報道された事例の紹介、講師自身が体験した事例を紹介しました。身近な事例を知ることにより、医療事故の発生率や重篤度を抑制できるなどの説明がされました。

感染対策講座では、空気、飛沫、接触による感染経路や感染症の事象を中心に、直接患者さんに触れるケースが多いために、自分自身がいかに清潔に保ち患者さんからの感染を防ぐか、手指消毒の重要性と方法の説明がされました。

被ばく低減講座は、被ばく低減に向けた今までの取り組みや、ガイドライン設定の目的、診断参考レベルの説明。医療被ばく相談に向けての対応の方法などの説明がされました。

これらの内容は、勤続年数に関係なく知っておかなければならない事であり、常に必要な知識でもあります。来年度は新卒者だけではなく、幅広く参加者を募っていきたいと思いますので、皆様に興味を持っていただき、魅力ある内容で開催できるようにしたいと思います。



生涯教育委員　曽我　隆正

Work Life Balance 検討委員会 presents

第11回

連載企画

『突撃!! となりの放射線科』

チーム医療編

ワークライフバランス検討委員会
鈴木　恵

皆さん、こんにちは。ワークライフバランス検討委員会の委員長の鈴木です。前委員長から委員長を引き継いで初めての連載企画となります。コロナ禍でなかなか会員同士の交流がもてない中でも、やはり他の施設の状況は知りたいもの！ということで今回はチーム医療について東部の２施設の方へ自施設での取り組みや思いなどを熱く語ってもらっています。

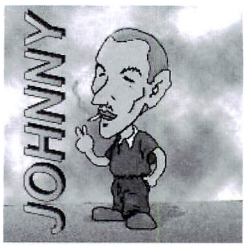
＊＊

チーム医療について

共立蒲原総合病院　渡邉　知巳

静岡県診療放射線技師会員の皆様、ご無沙汰をしております。蒲原病院の渡邉がこの度、満を持してこのジャーナルに戻って参りました。思い起こせば15年ほど前、当時の役員の方から、たってのお願いと言うことでジャーナルにて私のエッセイの連載がスタートしました。初回のテーマ「技師はつらいよ」は大変好評で多くのファンレターを戴くほどでした。これは暫く連載の原稿に追われる毎日を送ることになるんだろうと思っていました。

そんなある日、ペンはさらさらと進み第２弾の原稿も完成し寄稿依頼を待つばかりの状況でした。当時の担当役員から一本の電話……「渡邉さん申し訳ありません。今回は学術の原稿が多くエッセイを載せるスペースがとれません。」と言う事で休載になりました。まぁ原稿はそのまま次回に回せば良いだけのことなので私的には何の問題もありませんでした。ところが多くの会員から技師会事務所宛に抗議の電話が鳴り止まなかったそうです。



もちろん内容は全て「なんでナベちゃんのエッセイを載せないんだ！とっても楽しみにしていたのに！」だったそうです。月日は流れ再度ジャーナルの発刊が迫ってきました。大丈夫！原稿は既に出来上がっております。前回の休載のお詫びも付け加え少し内容を手厚くして構成し直して置きました。ところが待てども暮らせども寄稿依頼が来ません。こちらから問い合わせるのも私のプライドが邪魔をしてそれも出来ずただ待つのみでした。結局…編集委員からの依頼は来ませんでした。しかもあれほど私のエッセイを楽しみにしていた県内数百名（ほぼ女性）の会員からも全くの音信不通…そんな筈はない！冷静になって周りを見渡すと世間は空前の韓流ブーム。「マジか～！俺よりもペ・なんだ…」ただ内容は地味だが

明日の業務に即役に立つお話ばかり、もちろんユーモアもたっぷりでペ・ヨンジュンに負ける筈はない。ここは技師会幹部に聞くしかない！と言う事でたまたま直近に勉強会があったので会場に行くと何やら周りがザワついている。役員の誰もが視線をそらす。話を聞こうと駆け寄ると鳴ってもいない携帯に出る。さすがの私もこの空気を察知し会場を後にした。私の考えが甘かった。韓流ブームをなめていた。そこからもう２度とこのような思いはしないようにとペンを置き、曝射ボタンに持ち替えた。

あれからもう15年、月日の経つのは早いものです。そんな私に再びジャーナルへの寄稿依頼が来ました。内容は「チーム医療について」…う～ん、エッセイなら得意なんだが真面目な題材かぁ。しかもチーム医療ってかなり昔から言われてはいるけどなかなか現場では実感がわかない。やはり医師主導の医療が現実的なところ、どうすれば良いんだろう…

すると職場の同僚が「骨折予防チームの事なんか良いんじゃない？」と助言。そうでした！これがありました。骨粗鬆症による脆弱性骨折をなんとか減らしたいと言う強い意志の整形外科医と３年前に立ち上げた骨折予防チームが絶好のネタになる。しかも2022年度の診療報酬改訂においてそのチーム活動（脆弱性骨折を罹患した患者の２次骨折防止管理加算）が新設されました。と言う事で前置きはこの辺にして本題に入っていきます。



先ずは組織の構成から、医師・看護師・保健師・薬剤師・理学療法士・診療放射線技師・管理栄養士・医療秘書からなる他職種連携による活動集団です。所謂リエゾンサービスと言われるものです。

リエゾンサービスって？

リエゾンとは「連絡係」と訳され、診療におけるコーディネーターの役割を意味します。その目的は、最初の骨折への対応および骨折リスク評価と、新たな骨折の防止、また最初の脆弱性骨折の予防であり、サービスの提供対象は大腿骨近位部骨折例、その他の脆弱性骨折例、骨折リスクの高い例や転倒リスクの高い例、高齢者一般です。

すでに英国、豪州、カナダではこのようなサービスが実施され、多職種連携による骨折抑制を推進するコーディネーターの活動によって、骨折発生率が低下し、トータルでは医療費も少なくて済むことが報告されています。今回の診療報酬の改定もそこを目的にしているのです。内容はまさに今回のテーマ「チーム医療」のお手本のような活動なのです。

もう既にこのような活動をされている会員方もいらっしゃるかと思います。ただ私の個人的な感覚では、まだまだ放射線技師業界にはあまり根付いていないような気がします。学会等でも同業者に会うことがあまりありません。これをきっかけに少しでも興味を持っていただければ幸いです。それでは具体的な活動内容をお話しします。先ずは骨粗鬆症による脆弱性骨折の患者さんが入院します。看護師は骨折及び骨粗鬆症治療のサポート、薬剤師は患者さんに合った骨粗鬆症治療薬の選定と医師への助言、理学療法士は再転倒リスクの評価・認知度の評価・骨折予防体操などの指導、管理栄養士は骨粗鬆症に関わる栄養指導、放射線技師は継続的な骨密度測定と治療の効果判定、全身における脆弱性骨折の検索、医療秘書は対象患者のリスト管理、チーム間の連携など。とここまで

の内容で医師が全くと言って良いほど関わってきません。もちろん受傷後の処置、手術は医師が行うのですが、それ以外の２次骨折を防止するための患者への関わりは、各職種が自分の分野で可能な限り患者目線で接しサポートをしていきます。もちろんそこにはカルテ上や直接カンファレンスを行い情報共有していきます。メンバーがそれぞれ各分野においてかなりのプロ意識を持っているので、医師や他職種にもガンガン意見を言います。またそれを一方的ととらえず良い形で纏めていきます。まだまだ発足して間もないチームではありますが、自分たちで考え、それが少しずつですが結果として表れ始め、メンバーもやる気満々です。

我々の業務の多くは、画像診断と言う診療の初期の重要な部分を占めています。時間的・数的制約がありそこから先の経過を辿ることがなかなか出来ないのが現状です。今まではそれで良しとしていた自分がいたように思います。今回、このような他職種連携の活動を通して、「チーム医療」ってこう言う事なんじゃないかな、今まではそれをしようとしてこなかっただけなんじゃないかな？と思うようになりました。今後は他の分野にもこの様な活動を活かしていき、なにより受け身であった自分の考えを見直して行こうと思いました。



FILM「D」RED（フィルム「ド」レッド）～最強の超ド級のプロたち～

沼津市立病院　　内田　優音

働き始めて四か月ほど過ぎた。私の名は内田優音。今日本で一番強い、Ｊリーグ･･･いや、セリエＡにも匹敵するサンフレッチェ広島がホームとする広島から来たしがない新卒の診療放射線技師だ。

風を頼りにこの静岡に流れてきて、日本一と名高い富士山を毎朝見ながら生活できる沼津という地に足をつけ生活を始めた。私が勤めている沼津市立病院は静岡県東部の三次救急を担っている総合病院だ。普段は小さな事故や腹痛から大事故により発生した高度交通外傷、急性心疾患など、診療放射線技師も幅広い分野で活躍することができる病院に勤めている。そんな私が今回チーム医療について考えさせられ感じたことを綴る。

私が学生時代のときチーム医療とは、一人の患者さんに対してさまざまなスキルを持つ医療スタッフが連携し、協働しながら取り組むことで、それぞれの医療スタッフが相互に各分野の専門技能を理解すること、すなわち他職種の理解が大切だと考えていた。大学の授業ではチーム医療とは一人の患者を放射線技師、看護師、作業療法士、理学療法士、医師、臨床心理士などの多職種が連携して医療を行うこと。そのように授業で教わったが働き始める前の私は本当の現実を知らず、授業での教育を鵜呑みにし、診療放射線技師として働きはじめ現実を知ることとなった。

前述で述べたがチーム医療とは多職種の連携によって成り立つ医療の形と考えていた。しかしながら四か月でその考えは覆された。

現実、医療現場では医師が優位に立っているように感じた。治療をするのは医師であるのだからそれはいい。だが、看護師サイドから気付いた患者の異変や我々放射線技師サイドからみた画像所見など伝えても、無視するとは言わないが、ない

がしろにされるようなことがあった。他にも医師間の情報共有不足で患者の引継ぎが上手くいかない様なことがあり、互いに聞こえないところで文句をつけていることや、コロナ禍でもあるので、感染症の患者の病棟移動の際にも看護師同士の愚痴なども聞こえてしまったこともある。

単純に自分の意見を述べると、「チーム医療って現実には存在しないのでは？」そう思うほかなかった。確かに医師にだってプライドがあるかもしれないし、あまり話さない人間かもしれない。看護師も今までに色々あって仕事に対する熱量が個人により違うのかもしれない。大学で学んだチーム医療というものは机上の空論のようなものなのだと思ってしまっていた。そう思っていた。だが、この状況下で私が知らなかった超ド級のプロの力を知ることとなった。そのプロとは私が所属する沼津市立病院の先輩技師たちの事である。私の職場には私を除いて29歳から60歳までの診療放射線技師の先輩たちが働いているが、それぞれが放射線技師世界最高戦力並みの力を保持している。なぜ私がそう思わされたのか何人かの戦力を紹介しようと思う。

超ド級のプロの一人であり、直近の先輩にあたるG先輩はコミュニケーション力や洞察力が桁外れである。それこそ繁華街や歌舞伎町界隈で見かけた敏腕ナンパ師やホスト並みの洞察力や観察力を有している。口は悪いが言っていることが正論で私の前でも医師にまちがっていることを恐れず指摘をし、カルテだけでなく直接看護師から聞き出した患者の情報などを踏まえ最適な検査をしてチーム医療を引いていく一人だ。

「医師だから、年上の怖そうな看護師だから、意見を覆されるのが怖いから意見を言わないなんてことはしてはいけない。間違いやおかしい、危ないと思ったなら恐れず声を出せ。そのチーム医療は誰の為なのか、誰も声を上げないのなら自分が上げればいい。」暴力的や強引に聞こえるが間違えではないと思った。むしろ自分から気になることに気づいて発言し、その事象に対して周囲の誰かも巻き込み考えることが出来たのならそれはチームで行動できていると言っても良いのではと先輩から学んだ。

超ド級のプロの一人であるO先輩がいる。60歳の大ベテランで今まで病院を引っ張って来た歴戦の勇士の一人である。O先輩は部署内でレントゲン写真を上手に、正確に、再現度高く撮るプロ中のプロである。再現度が難しいレントゲンや、寝たきりや外傷の患者に対して難しいオーダーのレントゲンなどこれまでの知識を最大に発揮しスムーズな撮影をし、どの写真が良い写真なのか、どんな撮り方が最適な方法なのか、ポイントはどの観察点なのかを私だけでなく、中堅の技師などにも解りやすく理論的に説明もしてくれる。私からしたら大変勉強になる社会勉強実践版を教えてもらえる最高の機会であり嬉しい限りである。先輩が後輩にこれまでの知識を惜しみもなく披露してくれることも、上から下まで皆でチームとして勉強し補い合い患者に向かい合っていると言ってもいいのではと感じた。

そして、その超ド級のプロたちのまとめ役とも言えるT技師長もプロである。技師長は細かなところまで見ていて科全体を観察して多くを教えてくれる。実際私がインシデントレポートの報告が遅れたことに対しても厳しく叱責をいただいた。けどその言葉がなかったら私は今より甘えた姿勢で仕事をしていたかもしれない。私だけでなく他の先輩方に対しても間違ったことや報告が遅れたことに対して指導をしている。私が勝手に思ってしまったことだが、自分にも仕事に対しても真剣で周りが働きやすいチームでいられるように言ってくれているのだろう。事実働き方改革で給料面や休日面の問題が出た時に院長や事務にすぐに掛け合い打開策を探し当ててくれる。我々の事を信頼してくれているからこそ我々も安心して仕事ができる。信頼しあえる仲で仕事ができるそれがチームだと知った。

私は四か月ほどしか働いていないが、チーム医療は個人のモチベーションや意識、配慮、姿勢でいくらでも可能性があることを知れた。超ド級のプロたちの仕事や接し方を見ていると私が所属する放射線科の面々は個人がそれぞれ特有のスキルや特性を持ち、可能な限り他職種とコミュニケーションをとりチーム医療を確立させようとしている。他職種にその意識がなくともこちら側に引き込んでしまえば自然とチーム医療が完成していくのではと、「和」ができるのではと考え、私もこの職場の先輩たちに追いつけるように考え方を柔和にして少しずつでも進んでいきたいと、そうなりたいと目標ができた。最後に、こんな仲のよい放射線科で多くを学ぶことができ、支えてくれる先輩方に感謝の言葉を述べる。

＊＊

ベテランの渡邉技師長と新人で入職４ヶ月の内田技師が考えるチーム医療について、それぞれの立場から考える思いを書いていただきました。新人ならではの理想と現実の狭間での葛藤、その悩みを打ち砕く先輩方の姿をみながら成長していく姿は皆さんも懐かしい思いで読んでいただけたのではないでしょうか。渡邉技師長には、骨折予防チームでのリエゾンサービスでのチーム連携についてご紹介していただき、改めてチーム医療へどのように関わっていくのかを再認識していただけたとのことでありました。各施設でもチーム医療で歯がゆい思いがあったり、改善すべきことがあるかと思います。ぜひお二人の思いを参考に、一歩ずつ前進してみてください。なお、渡邉技師長へのファンレターが殺到すると、事務所のポストが大変なことになりますので、皆さんほどほどに自重なさってくださいね。

メッセージボード

令和4年10月現在

東部地区

◎経過報告

2022.7.26(火) 16：00～

メディメッセージ2022

協賛　協和医科器械株式会社

株式会社ディスタンスインターナショナル

上記２社と顔合わせ及び打ち合わせを実施

2022.7.27(水) 18：30～

第２回幹事会(WEB会議)開催、

「国際医療福祉大学熱海病院」配信

①地区会だよりvol.2について

②第１回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会･メディメッセージ2022参加について

③地区会費について

④東部地区会連絡網の取り扱いについて

⑤第３回幹事会について

2022.8.22(月) 16：00～

メディメッセージ2022

協賛会社とWeb打ち合わせ

2022.9.26(月)

東部地区会だよりvol.2　発行・配送

2022.10.20(木)

第３回幹事会　開催予定

「三島商工会議所」

2022.11.26(土)

第１回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会. メディメッセージ2022へ参加予定

2022.11.27(日)

メディメッセージ2022へ参加予定

◎行事予定

2022.12月中旬

東部地区だよりvol.3　発行予定

2023.1.28(土)

第２回　放射線セミナー

第２回　胃がん検診X線撮影従事者講習会

「三島商工会議所」４階　大会議室

※)コロナ禍の状況により開催方法は検討

2023.2.10(金) 19：00～

第４回幹事会　開催予定

2023.2月中旬

東部地区だよりvol. 4　発行予定

2023.3.11(土)

第61回東部地区会通常総会　開催予定

※)コロナ禍の状況により開催方法は検討

中部地区

◎経過報告（6月後半～10月前半）

6/8（水）　中部地区会連絡網作成

7/6（水）　中部地区会ニュース発行

7/27(水)　第2回幹事会ZOOMにて行いました。（出席者6名）

① 地区会長挨拶

② 県理事会報告

③ 検討事項　第1回放射線セミナー、胃がん検診エックス線従事者講習会のテーマ、演者の選出について検討しました。（出席者6名）

④ 中部地区会レクリエーション、現在のコロナの状況から開催は困難と判断し、中止といたしました。

⑤ 例年開催されていて、9/11予定されていた「ふれあい広場」は中止になりました。

9/9（金）　第3回幹事会ZOOMにて行いました。（出席者9名）

① 地区会長挨拶

② 県理事会報告

③ 第1回放射線セミナー、胃がん講習会の打ち合わせ。

④ 2023/3月開催予定の第2回放射線セミナー、胃がん講習会の開催について検討しました。

⑤ 次回幹事会について

10/1（土）　令和4年度第1回放射線セミナー、胃がん検診X線従事者講習会ZOOMにて開催。内容は、バリウム製薬会社からの情報提供、施設発表、2施設、当該施設とガイドラインとの比較、症例報告など。（出席者44人）

◎行事予定（12月から3月）

11月　地区会ニュース発行予定

2023/1/20(金)　中部地区会幹事会開催予定、3月の放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会、中部地区会総会について検討します。

2023/3/4（土）　14時～令和4年度第2回放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会、総会開催予定。

西部地区

◎経過報告

・社会活動「高校生体験授業」７月末
　新型コロナウィルス感染症流行のため中止

・第１回西部地区会誌　「西部TIPS」８月発行

◎行事予定

・令和４年度西部地区会レクリエーション
　スマホアプリを使用したウォーキング大会
　開催期間：10月20日～11月20日

・社会活動　可美公園まつり（健康ブース）
　日時：10月23日（日）
　会場：可美公園総合センター

・第１回西部地区会勉強会
　日時：12月３日（土）13：30～16：40
　方法：WEBによるライブ配信（Teamsの予定）
　講演①胃がん従事者講習会　13：30～14：30
　　「ひと手間でレベルアップする胃部X線検査」
　　社会福祉法人　聖隷福祉事業団
　　聖隷予防検診センター　放射線課
　　係長　朝比奈真一　先生
　講演②放射線セミナー　14：35～15：35
　　「造影CT技術に関する最近の話題」
　　名古屋市立大学病院　診療技術部
　　放射線技術科　主査　大橋　一也　先生
　講演③西部地区会第１回勉強会　15：40～16：40
　　「明日からの診療のため我々放射線従事者にできること～消化管病変は臨床医にはわかりにくい～」
　　国立大学法人　浜松医科大学
　　放射線診断学講座
　　診療助教　川村　謙士　先生

・第２回西部地区会勉強会
　日時：令和５年３月４日（土）13：30～
　内容未定

本会の歩み
（令和4年6月1日～令和4年 9月30日）

R 4 / 6 / 4
令和 4 年度第 1 回告示研修（実技研修）
静岡県立総合病院　参加者　46名

R 4 / 6 / 5
令和 4 年度第 2 回告示研修（実技研修）
静岡県立総合病院　参加者　45名

R 4 / 6 / 9
第 5 回常任理事会（技師会事務所）
高橋　牛場　佐藤　小林　河井　中村　福地
野沢　齋藤　常葉　菅原
協議事項
・総会の振り返り
・今後の事業について
・企画申請書、報告書
・その他

R 4 / 6 /18
第47回放射線技師のためのセミナー（WEB）
・企業講演
「造影剤注入装置」
バイエル薬品株式会社
株式会社　根本杏林堂
・会員発表
「タスク・シフト/シェアによる業務拡大への取り組みと将来像」
中東遠総合医療センター　鈴木　康章　会員
静岡市立静岡病院　増田　秀道　会員
聖隷沼津病院　田沢　範康　会員
・特別講演
「静脈路確保に関する知っておきたい知識と事故防止」
静岡市立静岡病院　看護部　内視鏡放射線検査室
渡部　美尚子　先生
参加者58名（会員46名　その他12名）

R 4 / 6 /23
第 6 回常任理事会（WEB）

R 4 / 6 /28
編集委員会初校
常葉　遠藤　堀　三輪　杉山　福地

R 4 / 7 / 8
令和 4 年度社会活動
学校法人聖隷学園　聖隷クリストファー中・高等学校　［出張授業］
・講義：診療放射線技師のお仕事紹介
・実演：ワークステーションを用いた画像紹介
講師　聖隷健康診断センター
小林　秀行　会員

R 4 / 7 /12
編集委員会二校
常葉　遠藤　堀　杉山　福地

R 4 / 7 /14
第 7 回常任理事会（技師会事務所）
高橋　牛場　佐藤　小林　河井　中村　福地
野沢　齋藤　常葉　菅原
協議事項
・新春公開講演会及び10周年記念式典
・会費徴収システムについて
・企画申請書、報告書
・その他

R 4 / 7 /23
令和 4 年度第 3 回告示研修（実技研修）
富士宮市立病院　参加者　38名

R 4 / 7 /24
令和 4 年度第 4 回告示研修（実技研修）
富士宮市立病院　参加者　44名

R 4 / 7 /28
第 8 回常任理事会（WEB）

R 4 / 7 /29
ジャーナルVol.32 No.1 2022（通巻214号）　発行
常葉　遠藤　堀　三輪　杉山　福地　野沢
中村　河井

R 4 / 8 /10
第 9 回常任理事会（技師会事務所）
高橋　牛場　佐藤　小林　河井　中村　福地
野沢　齋藤　常葉　菅原

協議事項
・新春公開講演会及び10周年記念式典の進捗
・会費徴収システムの進捗
・デジタルマンモグラフィー講習会について
・企画申請書、報告書
・第２回理事会の協議事項について
・その他

R４/８/25
第10回常任理事会(WEB)

R４/８/27
第２回理事会(技師会事務所＋WEB)
高橋　牛場　佐藤　小林　中村　福地　野沢
斎藤　常葉　菅原　大多和　中村　神谷
寺田　廣澤　大倉　栗田　山本
協議事項
・会費徴収システムについて
・新春公開講演会及び10周年記念式典について
・その他

R４/９/８
第11回常任理事会(技師会事務所)
高橋　牛場　佐藤　小林　河井　中村　福地
野沢　齋藤　常葉　菅原
協議事項
・会費徴収システムの進捗
・秋季公開講演会について
・新春公開講演会及び10周年記念式典の進捗
・東海四県学術大会の進捗
・企画申請書、報告書
・その他

R４/９/10
フレッシャーズセミナー
(藤枝市立総合病院　２階講堂)　参加者　９名

R４/９/22
第12回常任理事会(WEB)

会員動静（敬称略）
（令和４年５月12日～令和４年９月７日）

【入　会】30名
東部：黒坂　勇貴　順天堂静岡病院
小貫　陽都　順天堂静岡病院
廣内　駿　順天堂静岡病院
長谷川秀樹　フジ虎ノ門整形外科病院
小堀健太郎　フジ虎ノ門整形外科病院
杉山　明久　フジ虎ノ門整形外科病院
飯田　和磨　富士市立中央病院
稲垣　伸一　富士市立中央病院
大田　実希　三島総合病院
小川侑希也　ふじの町クリニック検診センター
田村　創　伊豆赤十字病院
長谷川明里　自宅
髙橋　毅晃　自宅
中部：田中志津子　上土整形外科スポーツクリニック
高間　俊博　上土整形外科スポーツクリニック
鈴木碧央尉　静岡市立清水病院
山本　博貴　静岡市立清水病院
角替　真樹　藤枝市立総合病院
杉山　泰樹　コミュニティホスピタル甲賀病院
西部：吉田　逸郎　浜松医科大学附属病院
増田　侑真　浜松医科大学付属病院
鈴木奈央子　浜松医科大学付属病院
鈴木　裕也　浜松医療センター
村松　朋紀　浜松医療センター
川島　雄穂　浜松医療センター
岩間　芙美　浜松医療センター
松林　歩利　浜松医療センター
早川　翔　聖隷予防検診センター
佐藤　理乙　市立御前崎総合病院
渥美　紗来　浜松労災病院

【再入会】０名

【転　入】７名
東部：廣瀬　知世　順天堂静岡病院
← 京都府
市井　佑樹　静岡医療センター
← 愛知県

山本　絢加　　中東遠総合医療センター
←　兵庫県
西部：佐々木　大岳　自宅
←　東京都
平間　晃平　　すずかけセントラル病院
←　東京都
平　真己人　　聖隷浜松病院
←　神奈川県
片岡　純也　　聖隷浜松病院
←　兵庫県

【転　出】 1名

中部：太田　宏紀　　神奈川

【勤務先移動】 10名

東部：池谷　幸一　　医療法人社団百葉の会湖山病院
←　富士市立中央病院
水口　好夫　　自宅
←　三島共立病院
鈴木　真弓子　富士いきいき病院
←　順天堂静岡病院
中部：三輪　則夫　　徳山整形外科医院
←　自宅
永田　豊明　　ともの整形クリニック
←　自宅
田邊　利夫　　自宅
←　静岡厚生病院
八木　秀視　　自宅
←　静岡厚生病院
西部：鈴木　浩介　　好生会小笠病院
←　好生会三方原病院
倉沢　恵莉子　HMT画像診断クリニック
←　自宅
県外：鈴木　友博　　国立長寿医療研究センター
←　自宅（東部）

【退　会】 0名

【姓変更】 1名

中部：神領　萌子
←　佐野

会員総数	１０２４名
東部	２８６名
中部	３１１名
西部	４２４名
県外	３名

（令和４年９月７日現在）

【電　報】 0件

本会への寄贈図書

（令和４年６月15日～令和４年９月30日）

6/21　福岡県診療放射線技師会　会誌　第350号　2022.6.15
6/27　福井県診療放射線技師会　会誌　2022年　第43号
6/27　秋放技ニュース（秋田県診療放射線技師会）　令和４年６月20日　通巻70
7/4　放射線やまぐち　2022.Vol.291
7/5　東京放射線　2022年合併号7.8月Vol.69　No.807
7/7　京放技ニュース（京都府放射線技師会）　7/2022　通算746号
7/28　かながわ放射線科だより Vol.75　No.2　Jul.2022　299
7/28　埼玉放射線　2022　No.3
8/8　大放技会報　No.345 大阪府診療放射線技師会　（７月31日発行）
8/8　大分放射線　第128号　July　2022
9/5　北海道放射線技師会　会報　2022年９月
9/6　東京放射線　2022年９月号　Vol.69　No.808
9/6　岐阜県診療放射線技師会　第98巻　通算134号
9/12　MART会報98 宮城県放射線技師会　2022.9.Vol.132
9/20　富山県診療放射線技師会　会報　Vol.100　2022

令和4年度 第2回 理事会 議事録

1．開催日時　令和4年8月27日(土)
14：00 ～17：00

2．場　　所　技師会事務所+WEB会議

3．出 席 者（敬称略）

髙橋　真・牛場　克明・佐藤　正明・
小林　秀行・中村　真也・福地　大介・
野沢　滋幸・菅原　和仁・齋藤　忍・
常葉　勇介・大多和純一・中村　英明・
神谷　正貴・廣澤　賢一・寺田　理希・
栗田　仁一・大倉　善郎・山本　英雄（顧問）

欠席者
河井　淑裕・和田　健（顧問）

1．会長挨拶

髙橋会長

2022年第2回理事会をはじめます。

定款第6章の第34条に従いまして、私が議長を務めさせていただきます。

議事録につきましては、総務庶務の河井理事の代行として、広報の菅原理事にお願いをいたします。発言者以外はマイクをオフにしてください。

2．報告事項

Ⅰ．会長報告

JART報告

・6/11　13時～17時　JART　第84回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会がWEB配信で開催されました。会長、副会長等主要役員は継続となりました。詳細は会誌JARTをご覧ください。

・全国理事に中村登紀子（順天堂大学医学部附属静岡病院）さんが就任されました。

・山本英雄顧問は中日本地域理事を退任され、JARTの総会運営委員に就任されました。

・中日本地域理事には、三重県の界外会長が就任されました。

・中村登紀子さんが倫理委員会の委員長に就任され、静岡県から委員を1名選出してほしいとのことでありましたが、常に連絡が取れる方が必要とのことで、同じ職場にお勤めの杉山巧也さんを推薦されたため承諾しました。

・7/9　新会長会議（web）が開催され参加いたしました。(10県)

JARTの今年度の事業計画案についてです。資料にあります通り10の事業が提示されているのでこれらを徹底して進めていく形になります。具体的には業務拡大に伴う告示研修を筆頭に、医療放射線安全管理の推進、STAT画像報告事業の推進、生殖腺防護、国家試験の在り方提言、特に難易度に関してですが、ほかは記載の通りでこれらを徹底して進めていきます。

・日放技の創立75周年記念式典（東京）に参加してまいりました。山本顧問、杉山高会員が厚生労働大臣賞を受賞されました。おめでとうございます。

・新型コロナ感染症の感染対策として、富士フイルムメディカル様よりアルコールスプレー（Hydro Ag +）200mlタイプ（一箱24本入）が寄贈された。告示研修等で活用していただくよう全国の都道府県技師会に配布されました。技師会事務所に届いております。

県の会員数です。手元の資料は947名ですが、先月の常任理事会にて新規入会者が承認され、はじめて1,000人を超えました。組織率はまだ60%程度ですが少しずつ増えていますので、さらなる向上を目指したいと思います。また全国における各月別の会員数は31,000件程度で、徐々に増えていくであろうと見込まれ、32,000～33,000件程度で推移していけばいいのではないかと考えられます。告示研修を進めていく中で徐々に増えていくであろうとも考えられますので、各施設においては入

会の促進をお願いします。

組織率の60%という数値ですが、全国で見ると平均55.1%ですので全体では上の方に位置しますが、東海・北陸地方は全般的に比較的高いため、特に大きな施設では組織率向上に対して積極的な働きかけをお願いします。

会長会議にてタスクシフトにおける告示研修の推移に関しても報告がありました。資料は診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士のぞれぞれの研修修了者の推移を表したものです。

今年度の達成度ですが、2021年度は計画に対して34.7%と低くなっていますが、これは新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものです。感染状況に注意しながらも今年度以降しっかりと取り組むことが重要と思います。残りの資料に関しては目を通しておいてください。

会費未納者に対する債務回収業務に対して資料のごとく業務が始められています。該当者には督促状などが届きますので対応していただきますが、基本的にはそのようなことがないようにお願いします。

会費免除規程の終了についてです。平成16年より終身会費免除制度が設けられ運用されていました。元々令和４年までの期間限定での運用予定でしたので、予定通り今年度末に終了となります。

功労表彰および永年勤続表彰候補者の推薦についての案内についてです。

後藤表彰委員長の方に依頼をします。11月18日が推薦の期限日となっています。

イベント会費徴収システムに関してです。

JARTから話が上がっておりますが、これはweb会議・セミナーが主流となる中でJARTにおいて統一したものを作ってくれないかという声が一部の地区から上がり進められました。

資料の通り、初期費用¥72,498、維持費で月額¥5,649程度かかりますが、このような形でよければという話でありました。全国一斉での導入は難しく、まずは中日本地域だけで意見をまとめていくこととなりました。

JARTからの説明会を各理事や部会長の皆さんにも拝聴いただきましたが、あまりいい回答ではありませんでした。本県としては、アシストデザイン社と以前よりシステム構築について協議を重ねており、アシスト社のシステムでは初期費用不要でシステム利用料も安く、決済方法も多岐にわたるということで、こちらを利用していくことを先日の常任理事会で決定し、JARTのシステムは使用しない旨を中日本の方へ回答しました。

現在はそれに基づき口座や通帳の準備などを進めているところですが、再度会計と情報管理より説明があると思います。

第62回　東海四県放射線技師学術大会の収支に関しての報告です。

昨年度三重県で開催された内容ですがwebで行われました。総参加者は190名、内訳は記載の通りで会員からは会費徴収していません。非会員の33名より会費を徴収し収入¥64,000で収支を計算し監事の確認がなされています。

火災保険に関してです。

これまで年１回の更新であったが５年間での契約について保険会社から打診があり、常任理事会で審議後承認し契約を結んでいます。

メディメッセージ2022の協力について、協和医科器械株式会社より協力の依頼がきています。今年度は沼津にて11月26、27日に開催されますので、東部地区の施設を中心に協力をお願いします。こちらに関してはレントゲン週間の関係での補助金が中日本地区で10万円あり、これに手上げしており、三重県と折半し５万円予算が確保できています。またここに記載ありませんが、西部地区で高校への出張授業を予定しており、これも併せての形で申請しています。それぞれ実施後は実施報告書が必要なのでよろしくお願いします。

静岡社会健康医学大学院大学から入学の案内です。

先方が人材育成として、ぜひ診療放射線技師の

皆様に大学院への進学をお願いしたいということで面会に来られました。非常に熱心な先生で、今現在１学年12－13名の学生が在籍し、医師が大半、ほか看護師・薬剤師・臨床検査技師などが数名ずつ在籍しており、お互い医療従事者でありますが、医師に対しても先生と呼ばずに名前で呼ぶなどの縦のつながりではなく、横のつながりを重視して勉強していくスタイルをとっているという話でした。学びの場としては非常によい環境と思われるので、ぜひこういった機会があるので積極的に活用していただきたいと思います。適任と思われる方がいればぜひお声がけなどお願いします。また、先日広報としてジャーナルにも同封してありますので、一度パンフレットなどを確認いただければと思います。

フレッシャーズセミナーについて。

60％程度の組織率ですので是非これを高めていきたいのですが、９月10日にセミナーが開催されます。いまのところ参加人数は７名のみで非常に少ない状況ですので、ぜひ参加を推進していただき、一人でも多くの方が会員に加入するように広報していただきたいと思います。

ここからは資料がありませんので口頭での報告です。

中日本からの報告として

・６/19石川県で震度６弱の地震発生。石川県技師会から被害報告は出ておりません。災害に関する報告をいち早く受けなければいけないということになっていますので、各地区理事におかれましては台風・暴風や大雨なども該当することになろうかと思いますが、大きな被害を受けた方がいた場合は補助が出る場合もありますので、把握し報告をお願いします。

・業務改善推進委員会の代表、副代表の選出依頼があり、ワークライフバランス検討委員会に依頼し、（代表）鈴木恵委員長、（副）落合臣人さんに決定し報告しました。

・CCRT倫理委員会役員の選出について、浜松医科大学病院の坂本昌隆さんを推薦しました。技術学会静岡支部（浜松医大　野村副技師長）も承認済で次年度の福井大会から対応するとのこと。

・第41回日本診療放射線技師学術大会候補地に福井県が立候補するとのことで、中日本として応援することといたしました。

・JARTの方で医療安全研修会が立ち上がりました。本県の山本顧問が担当していくこととなりますのでよろしくお願いいたします。

・11月開催のCCRTについて

愛知県のウインクあいちにて会場型で開催されます。大会長より座長の打診がありましたがその後連絡はないため確認をしていきます。会場型で行われますので是非参加をお願いします。ただしこのコロナの状況の中で施設においては参加の難しい状況も多いと思いますが、無理のない範囲でお願いできればと思います。

その他の件に関しての会長報告です。

・６/14から会計事務所に事業報告など一時提出書類を送付しました。

・６/16に曽我生涯教育委員長と共に静岡医療科学専門大学校訪問し、告示研修のための会場使用の依頼を行い、許可を頂きました。これに関しては10/15、16に開催されます。予定人数が決まっており15日が41名、16日が32名となっています。

・告示研修の予定と実績に関して報告します。

１回、２回　６/４、５　静岡県立総合病院
６/４：46名、６/５：45名

３回、４回　７/23、24　富士宮市立病院
７/23：38名、７/24：44名

５回、６回　10/15、16　静岡医療科学専門大学校　予定　10/15：41名、10/16：32名

７回、８回　12/10、11　藤枝市立総合病院
予定

・火災保険の更新について

単年（15,640円/年）から５年契約（70,200円/５年）にすると8,000円の支出削減。複数年契約に切り替えました。

・メディメッセージ2022について、協和医科器械より参加の依頼があり承諾しました。大多和東部組織理事を中心に対応をお願いしました。
・7/14　公益法人届け出書類一式提出完了
・7/14　静岡社会健康医学大学院大学　研究科長　田原様と面会。
・新春公開講演会に関して

畦元議員にお願いをしていますが、代理人からの返事として、畦元議員の講演依頼の返事が届いています。「畦元事務所には静岡県での式典のことを伝えておりますが、なにぶん忙しい身なので確約はできません。ただ、最悪でも講演動画やメッセージ動画など交えて60分は確保しようと思っております。いましばらくお待ちください。」とのことであった。畦元代議士は、静岡４区の深澤陽一先生の後を継いで今回より厚生労働大臣政務官となられた、とのことであり、会場に来ていただくことがかなうかどうかは非常に難しい所ではありますが、できる限りの中でお願いします、としてあります。
・8/22　ちから会計事務所に実印捺印書類提出完了（就任承諾書、議事録署名捺印）し、手続きは完了しています。

会長報告は以上です。

質問はありますか？特にないようでしたら副会長報告へ進みます。

Ⅱ．副会長報告

東部（委員会報告）

東部　牛場副会長

原子力緊急時災害対策研修会を開催します。日程は11/19で場所は浜岡原子力発電所にて開催するように準備を進めています。概要としては会場型で20名程度、ＺＯＯＭにて100名程度の参加を想定しています。会告はジャーナルおよびＨＰにすでにアップされており、事前登録制となっていますので会告に記載の参加登録方法の確認をお願いします。

続いて原子力緊急時災害連絡網に関して改正し整備をしました。役員変更に伴い順番等が変わっておりますのでご確認ください。また病院施設の名称変更なども一部修正しています。確認いただき問題なければＨＰへのアップ作業をお願いします。

静岡県危機管理部原子力安全対策会より、地域防災計画における原子力災害対策編から資料が届いており確認作業を行っています。

本会における役割に関しては修正点なく、原子力災害医療措置及び避難所におけるスクリーニング検査に対する協力、住民からの問い合わせに対して協力すること、以上のことが明記されています。

次に委員会報告です。

ワークライフバランス検討委員会より調査依頼がありまして、放射線技師のタスクシフト業務における状況把握に対するＷＥＢアンケート調査を実施しています。９月までに回収し２月の研修会にてまとめられるように取り組んでいるということです。対象施設は県内の放射線技師が在籍する全施設となり１施設１回答となります。すでにＨＰにアップされており、アンケートへの協力について広報しています。せっかくの取り組みですので、各地区組織理事の方は広報をお願います。東部は大多和理事、中部は中村理事、西部は神谷理事に各施設への依頼をしていただけると助かりますのでよろしくお願いいたします。メーリングが整備されている地区に関してはそちらを使用していただき、そうでない地区においては連絡網で回していただけるとよいかと思います。

中部（会務報告）

中部　佐藤副会長

報告事項はありません。

西部（部会報告）

西部　小林副会長

報告事項はありません

続いて常任理事報告へ移ります。

Ⅲ．常任理事報告

総務　中村理事

就任してからの３か月間の活動報告を行います。新役員交代に伴い新たに名刺を作成し各個人に郵送しました。また今回会長が交代しましたので関係団体（各都道府県技師会・日放技、１名以上の会員が在籍する124施設）へ新会長就任に伴う挨拶状のはがきを郵送しました。先日開催された県技師会学術大会の抄録集の広告依頼に関して賛助会員に出したところ、10社から広告依頼を受けました。抄録集に広告が掲載されたことを確認し、８/11付で依頼のありました賛助会員10社に対し請求書を送付しています。

総務庶務　河井理事（代理：広報菅原理事）

報告はありません。

庶務一般　福地理事

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会に関してですが見積書を作成し８/19付けで県へ提出しました。今後契約を結んでいく予定となっています。各組織理事におかれましては講習会終了後私の方へ関係書類の提出をお願います。

続いて令和４年４月14日から令和４年８月４日までの会員動静についてです。

新入会申請　41名

関口　僚祐（東部）　渡邊　剛彦（東部）
亀田　菜月（東部）　荒井　春香（東部）
内田　優音（東部）　黒坂　勇貴（東部）
山本　博貴（東部）　小貫　陽都（東部）
長谷川秀樹（東部）　長谷川明里（東部）
小堀健太郎（東部）　廣内　　駿（東部）
飯田　和磨（東部）　小川侑希也（東部）
髙橋　毅晃（東部）　稲垣　伸一（東部）
田村　　創（東部）　浅見　千明（中部）
新井　洸希（中部）　田中志津子（中部）
高間　俊博（中部）　鈴木碧央尉（中部）
角替　真樹（中部）　林　　英輝（西部）
鈴木　優良（西部）　國井　梨恵（西部）
後藤　勇磨（西部）　東田　真吾（西部）
牧野　芽衣（西部）　高橋　　遼（西部）
吉田　逸郎（西部）　原川　雄太（西部）
鈴木　裕也（西部）　村松　朋紀（西部）
川島　雄穂（西部）　早川　翔（西部）
佐藤　理乙（西部）　岩間　芙美（西部）
松林　歩利（西部）　渥美　紗来（西部）
市原　綾子（県外）

再入会　１名

荘川佳代子（西部）

転入　６名

廣瀬　知世（東部）　市井　佑樹（東部）
山本　絢加（東部）　石黒　裕海（中部）
佐々木大岳（西部）　平間　晃平（西部）

転出　３名

瓜倉　厚志（東部）　太田　宏紀（中部）
西川　遥香（西部）

新入会41名、再入会１名、転入６名、転出３名について定款第３章第６条に基づき本理事会での採決をお願いします。

髙橋会長

採択を取ります。

反対：０・保留：０・賛成：18

（全会一致承認）

庶務会員管理　野沢理事

会員数と今年度の会費納入状況を報告致します。会員数は、2022年８月４日時点で1010名、会費納

入率は61.9％（６月納入分まで）です。昨年同時期の会員数は964名、会費納入率は70.9％（７月納入分まで）でした。会員数は46名増加、納入率は低くなっていますが、資料作成期日の都合により、７月分の納入は反映させられなかったことも影響しています。概ね昨年度同様の納入率と推測します。次年度以降は６月納入分までで同時期で比較できるように致します。

年会費納入は、規定によりその当該会計年度の９月末日となっておりますので、お近くに未納者の方がいらっしゃいましたら、期間内に納入頂きますよう会費納入の呼びかけをお願い致します。昨年同様９月に会費未納者リストを作成し副会長へメールを送らせて頂きます。

髙橋会長

例年のことではありますが、会費納入率がやはり低く推移しているということがありますが、日放技からの補助金のこともありますので９月末の期限を厳守するようお願いします。

会計　齋藤理事

部会への研修に関する振り込みを６月に実施しています。各地区会への振り込みに関しては胃がん従事者講習会の開催が終わった後に振込を予定しています。

先ほど報告のありました本会における講習会費徴収システム構築に伴い新しく口座と通帳を作成するように準備を進めています。

広報　菅原理事

広報について

・申請書・各種書式　西暦表記に修正しました。

情報管理委員会

・ホームページ更新　６月10日～８月21日に下記に関して行いました。

事業計画・事業報告・決算報告・役員・会長挨拶

申請書・各種書式の改定版

・セミナー会費徴収システム導入準備とその一環としてホームページ・セキュリティ対策としてSSLの導入、クレジットカード会社とのやり取りで、静岡県放射線技師会様のホームページ全般にSSL（注１）が導入されていないことが指摘されてしまいました。

（現在は、申込フォームのみにSSLが適応されています。）

上記のSSLの導入費用に関しましては、アシストデザイン様で負担を致します。

ただし、URLが現在の

「http：//www.shizuhogi.jp」から

「https：//www.shizuhogi.jp」に代わってしまいます。（上記につきまして、ホームページに告知してから変更をさせて下さい。）

状況報告と今後の予定について。

・カード会社様との利用契約申請中

・現在アシストデザイン様がテスト申込フォーム作成中です。

・上記システム完成後、申込フォーム動作テスト動作確認実施

・セミナー会費入金口座、準備中です。（ゆうちょ銀行）

・システム運用開始（目標設定９月12日）

（有料セミナー・募集開始が９月12日（月）以降の設定日でしたら利用可能となる予定です。）

髙橋会長

地区選出理事からの報告に移ります。

Ⅳ．地区選出理事報告

東部　大多和組織理事

11/26、27開催のメディメッセージに参加します。26日は胃がん従事者講習会と重なってしまっていますが頑張っていこうと思います。

中部　中村組織理事

6/8中部地区連絡網を作成し7/6地区会ニュースを発行、7/22幹事会をZOOMにて開催しました。主な議題は放射線セミナー、胃がん従事者講習に関して検討しました。

今後の予定は9/9幹事会で上記講習会の打ち合わせをし、10/1に講習会の開催を予定しています。内容は製薬会社からの情報提供、施設発表2施設、当該施設とガイドラインとの比較、症例報告などを予定しています。例年9/11に開催されるふれあい広場は今年度も中止となります。

高橋会長

先日のweb理事会にて中部地区から企画書が提出されていたが内容に不備がありましたのでもう一度直して提出をお願います。

西部　神谷組織理事

10月開催の可美公園まつりに参加予定ですが先方からの連絡待ちです。現状では骨密度の測定を実施する予定で機器の手配は済んでいます。12/3胃がん従事者講習を含む勉強会をコングレスセンターにて予定しています。

Ⅴ．常設委員会理事報告

学術　寺田理事

7月15日（委員会開催予定→コロナ感染拡大のため中止）

新春公開講演会と東海4県学術大会についてメールで意見を聞きながら下記のように決定

20203年1月新春公開講演会

公開講演（案）

高橋新会長に「放射線技師会に役割と今後の方向性、県民への貢献について」など

高橋会長に快諾いただいております。10周年記念と祝賀会とを合わせるということで公開講演の一つのテーマを決定する、ということでした。ご意見いただき今後検討していきます。

いつもは県民向けということで病気に関する話が多いのですが今回は私の意向もありまた会場型であること、あと県民の方がどれほど参加くださるかという問題もあり高橋会長にお話しいただくことに決定しました。

＜確認事項＞

その他のプログラムは？

開催日時と会場、司会、座長、広報、派遣依頼の役割分担、開催方式

第63回　東海四県放射線技師学術大会（案）

大会テーマ：「肝臓疾患について」

日時：2023年2月11日（土・祝日）

場所：アクトシティ浜松（Hybrid）

10：00～　受付開始

10：40～　当番県挨拶

10：50～11：50　会員発表「医療放射線の安全利用について」

CT、核医学、血管撮影（過剰被ばく含む）、安全利用の教育

｛各県より選出｝

12：00～13：00　ランチョンセミナー

（案1）肝疾患に対するEOBと細胞外液性造影剤の使い分け　バイエル水内

（案2）AIによるMRIの画質改善　メーカーは交渉（確認中）

13：10～14：10　教育講演　五島教授（依頼済）

14：20～15：50　シンポジウム「肝臓疾患に迫る画像診断」

ＣＴ、ＭＲＩ、超音波、核医学

（各県より選出）

15：50～　次回当番県挨拶

16：00　終了

＜確認事項＞

司会、各セクションの座長、広報、派遣依頼の役割分担

各県への派遣確認→小林副会長

東海４県について、昨年はwebで小規模に行った。今年は上記のように考えている。ランチョンはメーカーに依頼していく予定で内容はAI, Deep Learningなどを検討。また五島教授に教育講演を依頼しシンポジウムまで残っていただけると聞いています。

上記このような形で提案させていただきます。

派遣依頼に関してはどなたがやっていただけるのでしょうか？

小林副会長

私が担当します。

企画調査　廣澤理事

３月予定の静岡県放射線技師会研修会における企画申請書を来月の常任理事会の方へ提出しますのでお願います。

次に監事報告です。

Ⅵ．監事報告

栗田　監事

報告はありません。

大倉　監事

報告はありません。

３．協議事項

髙橋会長

協議事項です。

Ⅰ．新春公開講演会及び10周年記念式典について

中村理事

資料をご覧ください。

新春講演会および10周年記念式典について（案）

【日時】令和５年１月14日（土）13：00～17：00

【会場】ホテルグランヒルズ静岡５Fセンチュリールーム

〒422-8575静岡市駿河区南町18-１

Tel：054-284-0111

【収容人数】MAX：正賓200名、ブッフェ400名、スクール280名、シアター500名

【開催方式】現地開催＋WebによるHybrid開催（Web開催の可能性あり）

【会費】無料

【内容】

13：00～会場準備

13：30～受付開始

13：55～14：00会長挨拶

14：00～14：50公開講演

『放射線技師会の役割と今後の方向性、県民への貢献について』

講師：静岡県放射線技師会会長　髙橋真先生

座長：＊未定

14：50～15：00休憩

15：00～15：50公益社団法人化10周年記念式典

１．開式の辞

２．会長挨拶

３．来賓挨拶（静岡県健康福祉部：八木敏裕部長）＊未定

（静岡県病院協会：毛利博会長）＊未定

（静岡県医師会：紀平幸一会長）＊未定

（静岡県看護協会：渡邊昌子会長）＊未定

（自由民主党：畦元将吾先生）＊未定

４．祝電披露（日本診療放射線技師会：上田克彦会長）＊未定

５．表彰（後藤表彰委員長）

６．設立功労者紹介（和田健顧問・延沢さん）＊未定

７．閉式の辞

15：50～16：00休憩

16：00～16：55教育講演会

『未定』

講師：自由民主党広島県衆議院比例区第一支部長畦元将吾先生＊未定

座長：＊未定

16：55～17：00挨拶（終了）

会費に関して、アール祭は今年はやらないので無料でよいでしょうか。また上田会長の所はビデオメッセージになるかもしれません。設立功労者に関してはまだ話ができていません。

会場図を参考に、現在仮抑えしてある商工会議所と第一ホテルについて、本日センチュリーで決定されればキャンセルします。役割担当は前回を参考に作成しました。

予算に関しては概算で100万程度必要かと想定されます。

高橋会長

少し足が出るかもしれませんが。

小林副会長

会場もまだ決定していませんのでなんとも。商工会議所なら1/3程度の会場費になると思いますが。

高橋会長

ほかの会場の金額はどれくらいでしょう。

中村理事

商工会議所は20万円程度だそうです。

高橋会長

WEB配信システムの有無についても検討が必要ですね。第一ホテルもありかもしれません。収容人数の兼ね合いもあります。第一の場合、別部屋をとってそこから配信という手もあるかと。控室の手配はどうなっていますか？少なくとも来賓の方々の待機スペースが必要です。参加者には可能な範囲で多く参加いただきたいですが当然感染状況にもよります。第一ホテルは2つ部屋があり、こちらのほうが安くは上がると思います。

商工会は頻繁に使用しているがWEB配信は行ったことがないので不明。顧問いかがでしょうか？

山本顧問

難しいですね。司会者については？

高橋会長

役員で行います。せっかくの10周年記念式典ですのでやや予算オーバーしますが、このままホテルセンチュリーでいきましょう。役割分担ですが基本はこの形で調整しましょう。可能な限り役員で対応していきたいと思います。

中村理事

座長は？

小林副会長

本来は学術の方で選出ですが今回は会が大きいので別に検討したほうが良いでしょうか。まずは会長講演の座長に関して。

高橋会長

山本顧問ではいかがでしょう。

小林副会長

みなさんいかがですか？私としては前・現会長の組み合わせだと内輪すぎるかなと。

高橋会長

次回常任で決定しましょう。畦元先生の方はいかがいたしましょう？本来は会長がやるべきかと思いますが副会長あたりでいかがでしょうか。

小林副会長

私は全体の進行ですので。

牛場副会長

東部・中部副会長で相談して決めます。

髙橋会長

プログラムもこれでいいですね。来賓などへの依頼状の準備は中村総務お願いします。

Ⅱ．東海４県

小林副会長

プログラムに関しては寺田理事からありました通りです。これを前提に決定すべき事項についてこれから協議をお願いします。会員発表ですが安全利用・シンポジウムに関して各県に依頼をしたいと思いますので静岡がまず何を担当するかを決めていきたいと思います。CTまたはMRIあたりでどうでしょうか。まずは安全利用に関してですがどのモダリティがよいでしょうか。浜松医大でどれかやれそうですか？

神谷理事

正直なところちょっと難しいかもしれません。

小林副会長

引き続き検討していきましょう。シンポジウムの方はMRを受けるという方向でいかがでしょうか。

髙橋会長

シンポジウムのRIが内容的に難しいかもしれないですね。

小林副会長

RIまたは放射線治療およびIVRとしましょうか。演者の選出如何で決めざるを得ないかと思います。会場参加者は100名の想定で会費は徴収します。一人当たり２千円の予定としています。WEBも同額とします。メーカー講演ですが案１で考えています。お弁当は150食程度を準備する予定です。それから、岐阜で行われた際にメーカーによる機器展示があったような記憶があるのですが。いまさら感はありますが２、３社程度のスペースはあると思うのでいかがいたしましょう。よければ数社に声をかけてみます。依頼状に関しても良ければ出していきます。

髙橋会長

方向性はこれでよいと思います。企画書を一度作成してみてください。

小林副会長

スライド提出方法については事前提出ということにしています。あとは座長を決める必要があります。寺田理事とも相談しますが神谷理事いかがですか？

神谷理事

五島教授の座長でしょうか？それならば他に適任がいなければこちらで担当します。

小林副会長

リハーサルはどうしましょう？予算的なものも含めて。

神谷理事

アクトシティで技師会のみの実績はありません。メーカー協力のもと地区会は行ったことがあるのみです。

髙橋会長

必要だと思いますが費用のこともありますし、まず一度下見に行き、そこで相談するようにしましょう。リハーサルそのものは確実に行う方向でお願いします。

小林副会長

委員に関しては取り急ぎあてさせていただいています。西部地区会の方から何人か、５人程度お願いしたいのですが神谷理事、大丈夫でしょうか？

神谷理事

地区会において本件に関しては周知しています。これから具体的に個人名を挙げて交渉していく予定です。

Ⅲ．その他

高橋会長

その他何かありますか？

菅原理事

秋季公開講演の運営へのご協力の依頼です。これから依頼をかけていきますが役割などに関しては不明な点が多いので今後洗い出し、改めて常任などで協議をお願います。

高橋会長

本件に関しては基本的には常任の方で担っていくものですのでこれで進めていく形で問題ありません。

寺田理事

日本磁気共鳴専門技術者認定機構から静岡県MRI技術研究会の代表者名を必要が有れば変更してくださいとの連絡がきています。現在は山本顧問です。会長または小林副会長などにいかがでしょうか。また、これとは別に誰かしら認定者の名前を届け出る必要もあります。

山本顧問

本機構の制約上、本県の部会のシステムでは認定に必要なポイントが取得できない。そのため名称を変え、静岡県MRI技術研究と標榜し認定機構の方へ登録している。

小林副会長

部会長で問題なければそれでいいのではないでしょうか？大石部会長の方へ打診してみます。

高橋会長

最後に編集理事より報告をお願いします。

常葉　編集理事

順番前後しましたが９月より原稿依頼のメールを一斉に配信させていただきますので、各担当の皆様は締め切りまでに原稿の提出をお願いいたします。配布資料に現時点で判明している次号ジャーナルの目次を掲載しておりますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

高橋会長

他に報告事項・協議事項等無いようなので以上をもちまして令和４年第２回理事会を終了します。

※議長が第２回理事会の終了を宣言したので、令和４年８月27日午後５時00分理事会を閉会。

議事録作成　河井　淑裕

行事予定カレンダー　(2022年12月~2023年3月)

12 月			1 月			2 月			3 月		
1	木		1	日	元 旦	1	水		1	水	
2	金		2	月	振替休日	2	木		2	木	
3	土	第1回放射線セミナー、胃がん健診従事者講習会及び西部地区勉強会(西部)	3	火		3	金		3	金	
4	日		4	水		4	土		4	土	・第2回放射線セミナー、胃がん健診従事者講習会及び西部地区総会(西部) ・第2回放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部地区会)中部地区会総会
5	月		5	木		5	日		5	日	
6	火		6	金		6	月		6	月	
7	水		7	土		7	火		7	火	編集委員会(二校)
8	木	第17回常任理事会(事務所)	8	日		8	水		8	水	
9	金		9	月	成人の日	9	木	第20回常任理事会(事務所)	9	木	第23回常任理事会(事務所)
10	土	第16回医療安全セミナー 第7回告示研修(藤枝市立総合病院)	10	火		10	金		10	金	
11	日	第8回告示研修(藤枝市立総合病院)	11	水		11	土	第63回東海四県診療放射線技師学術大会 建国記念の日	11	土	第16回静岡県MRI技術研究会
12	月		12	木	第18回常任理事会(事務所)	12	日		12	日	
13	火		13	金		13	月		13	月	
14	水		14	土	新春公開講演会 法人化10周年記念式典	14	火		14	火	
15	木		15	日		15	水		15	水	
16	金		16	月		16	木		16	木	
17	土	第3回理事会	17	火		17	金		17	金	
18	日		18	水		18	土	第4回 理事会 第7回ワークライフバランス検討委員会研修会	18	土	静岡県放射線技師研修会
19	月		19	木		19	日		19	日	
20	火		20	金		20	月		20	月	
21	水		21	土	第49回放射線技師のためのセミナー	21	火	編集委員会(初校)	21	火	春分の日
22	木	第18回常任理事会(Web会議)	22	日		22	水		22	水	
23	金		23	月		23	木	天皇誕生日	23	木	第24回常任理事会(Web会議)
24	土		24	火		24	金	第22回常任理事会(Web会議)	24	金	編集委員会(ジャーナル発行)
25	日		25	水		25	土	第37回乳腺画像部会・第80回超音波部会合同研修会 第9回告示研修(静岡県立総合病院)	25	土	第56回アンギオ部会研修会
26	月		26	木	第20回常任理事会(Web会議)	26	日	第10回告示研修(静岡県立総合病院)	26	日	
27	火		27	金		27	月		27	月	
28	水		28	土		28	火		28	火	
29	木		29	日					29	水	
30	金		30	月					30	木	
31	土		31	火					31	金	

＊都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。
＊日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧下さい。

編集後記

＊９月23日に襲来した台風15号によって私の住む清水区では、実に１週間以上に及ぶ大規模な断水状態に置かれ、水道が使用できないという私の人生にとって初めて経験する未曾有の事態に直面したのでした。確かに蛇口から水が出ないという状況は不便ではあるのですが、時間が経過するにつれなぜか水の不自由な環境に適応してしまっている自分自身が実に不思議に思えるのでした。
（とは言え、水道が復旧した際には大いに安心したのは言うまでもありません。）　常葉

＊８月の末にとうとうコロナに感染してしまいました。ワクチンをちゃんと受けていたので、症状はそんなに出ないだろうと思っていましたが、そんなに甘いものではなく10日間の自宅療養中の半分以上はぐったりしていました。療養期間が短くなっていたら、私の場合は出勤が難しかったかもしれませんでした。この期間は畑にも行けず、ステイファームではなく本当にステイホームになってしまいました。みなさんも気を付けてください。　堀

＊ここ数年アニメにハマっています。鬼滅やワンピースはもちろん面白いのですが、私のオススメは異世界（仮想現実も含む）アニメです。異世界とは現実世界とは異なる、もう一つの世界を舞台としたアニメです。非日常やファンタジーを楽しみたい方、たまには現実を忘れてアニメに没頭してみてはいかかでしょうか？私も出来ることならフルダイブしてみたいです。　遠藤

＊社会人になりスノーボードを始めて10年ほどになりますが、一昨年からスキーにも挑戦しています。30代半ばからのスタートなので上達はゆっくりですが、少しずつ滑れるようになってきました。寒くなってくるとスキー場に行きたい欲が湧いてきます。体調に気をつけ、日々の仕事もしっかりこなし、趣味の時間も充実させていきたいと思う今日この頃です。　杉山

＊皆さんこんにちは。編集に携わって半年が立とうとしています。昔から国語が大の苦手だった私にとって、校正はとても辛い作業です。しかし楽しみがあります。それはいつも用意されているお弁当です。毎回、違うお弁当が用意されていて、しかもチョイスが良いので毎回楽しみです。これだけで頑張れます。編集委員長、いつも美味しいお弁当をご用意して頂き本当に有難うございます。　福地

＊90代の両親の介護の中でのパート勤務も充実した毎日に感じられるようになってきました。不規則な勤務のため、編集委員として中途半端にならないように反省しております。来年は70才になりますが、まだまだ健康で現役でいたいと思います。　三輪

会誌「しずおかジャーナル」Vol.32　No.2　2022　　令和４年11月25日発行

発行所　：　〒420－0064　静岡市葵区本通１丁目３－５　フェリス本通り202
公益社団法人　静　岡　県　放　射　線　技　師　会
発行人　：　髙　橋　　真
編集者　：　常　葉　勇　介
印刷所　：　松本印刷株式会社　〒420－0054　静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL(054)255－4862　FAX(054)253－2309

事　務　所　案　内

執務時間：月曜日～金曜日　午前10時より午後１時まで　　TEL(054)251－5954
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。　　FAX(054)251－9690

URL http：//shizuhogi.jp
E－mail address ： info-shizuokahousya@shizuhogi.jp